

県事業に係る観光マイスターの主な活動例について

- ◆ おもてなしの実演（おもてなし県民大会やおもてなし講座）
 - ◆ パンフレット「マイスターズセレクション」の製作協力
（観光マイスターへのアンケートや意見を反映した観光パンフレットの作成）
 - ◆ 見晴亭での観光案内
 - ・梅まつり期間中（3月13日～17日の5日間）に、見晴亭（偕楽園内東門すぐの売店兼観光案内所）の観光案内スペースにて、観光客への問い合わせ対応や観光案内、パンフレットの配布・補充等を実施。
 - ◆ ツアーアテンド（県観光物産協会）
 - ◆ メディア対応
 - ・エフエムかしま（ラジオ）にて、観光マイスターS級認定者が茨城県のグルメについて紹介。
 - ・日立市のケーブルテレビJWAY内の人気番組「神保シェフと茨城をたべよう シーズン3」において、観光マイスターS級がお勧めの観光スポットやお土産品等について紹介。6月～来年2月の放送分まで9回分の放送を予定。
 - ◆ 講演
 - ・取手市立藤代中学校から、中学2年生の総合学習の時間に、観光マイスターS級の方にマイスター制度や本県の観光地に関するお話をして頂きたいとの依頼があり、講演会を実施。
 - ・併せて、藤代中にて、職業体験活動のためのおもてなし（マナー）に関する授業を実施。
 - ・茨城県商工会議所青年部連合会が開催する「平成29年度茨城魅力邁進委員会事業」において、おもてなしに関する講演を実施。
 - ◆ 審査
 - ・「茨城おみやげ大賞2016」における審査
 - ・「Zekkei×体験いばらきモニターツアー」への参加及び関連するフォトコンテストにおける審査
 - ・「発掘！ ディープいば旅コンテスト2017」における審査
- など